

広報

おはれ

NO. 447

平成7年11月10日



かど きた
笑う門には福来る

川中体育館が寄席に変身



〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 TEL0257-68-3111 FAX0257-68-3828
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社 (毎月10日発行)

人口の動き

—11月1日現在—

男 4,298 (+3)

女 4,380 (+2)

計 8,678 (+5)

世帯数 2,254 (0)

() は前月比較

をお知らせします

財政事情の公表

町の財政状況を、皆さんから理解していただくために、毎年五月と十一月に財政事情の公表をしています。今回は、平成七年度上半期の予算執行状況や基金（預金）、町債（借金）の状況について紹介します。

一般会計

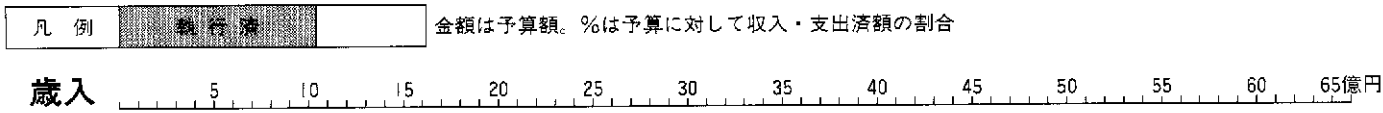
平成七年度一般会計予算は、当初五十六億一千二百万円でした。これに、平成六年度からの繰越事業と四回の補正予算により、九月末現在の予算は、六十二億六千三百三十四万八千円となっています。収入済額は三十億六千三百八万四千円で、予算対比四十八・九パーセントの執行率となっており、前年よりも五・七ポイント上回っています。

支出済額は十七億七千五百五十三万七千円で、執行率二十八・三パーセント、前年比では〇・二ポイントの減となっています。

今年上半期の特徴は、七月十一日からの豪雨災害を復旧するため、二度にわたり予算補正したこと、その額は三億三千四百五十六万六千円にもなっています。災害当初は崩土処理が主でしたが、九月からは、国県補助による本格的な復旧工事も始まりました。

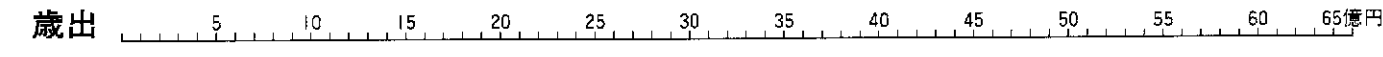
また、五月には待望の千手温泉がオープン。庚塚野球場大規模改造工事（写真）やナカゴシヨートゴルフ場造成工事も順調に進んでいます。

一般会計



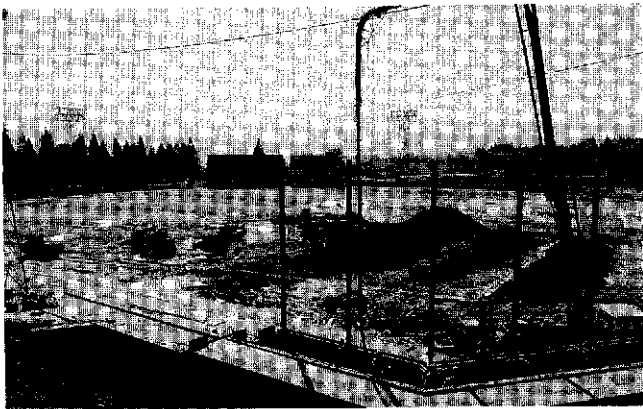
合 計	予算額 6,263,348千円	執行率 48.9%
地方交付税	2,156,000千円	74.8%
町 税	822,796千円	63.2%
町 債	744,300千円	0.0%
県支出金	564,262千円	9.3%
繰 入 金	545,120千円	0.0%
諸 収 入	539,904千円	83.4%
国庫支出金	325,875千円	13.8%
繰 越 金	218,534千円	106.2%
分担金負担金	99,151千円	40.6%
そ の 他	247,406千円	44.2%

（地方譲与税、利子割交付金、特別地方消費税交付金）
（自動車取得税交付金、交通安全対策特別交付金）
（使用料及び手数料、財産収入、寄付金）



合 計	予算額 6,263,348千円	執行率 28.3%
総 務 費	1,226,914千円	38.8%
土 木 費	891,900千円	13.2%
農林水産業費	868,017千円	11.3%
教 育 費	813,197千円	35.3%
民 生 費	744,712千円	43.5%
公 債 費	544,311千円	31.7%
衛 生 費	379,941千円	29.3%
災害復旧費	378,773千円	1.9%
消 防 費	178,575千円	43.3%
商 工 費	121,918千円	45.2%
そ の 他	115,090千円	38.0%

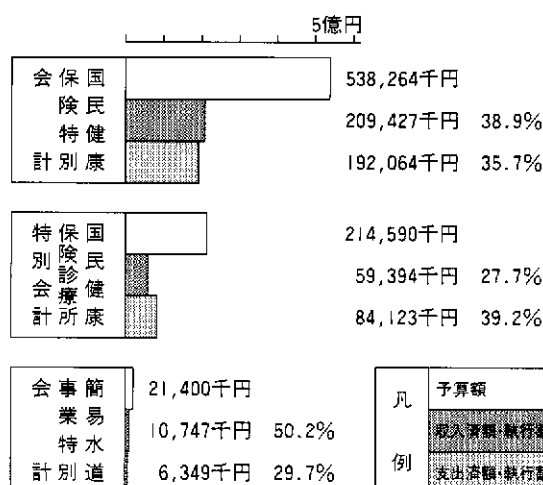
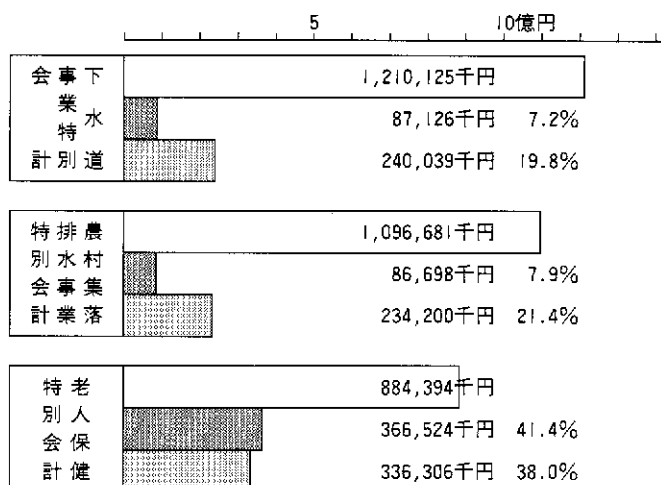
（議会費、労働費、諸支出金、予備費）



平成8年6月のオープンをめざし工事が進む庚塚野球場

平成7年9月30日現在の 予算の執行状況

特別会計



凡例	予算額
収入簿額・執行割合	
支出簿額・執行割合	

基金(預金)

区分	7年9月末現在高
土地開発基金	132,968
財政調整基金	494,633
減債基金	161,153
藤巻褒賞基金	2,435
豪雪対策基金	108,155
克雷住宅資金貸付基金	21,183
文化会館建設基金	385,462
まちおこし基金	481,915
地域福祉基金	173,889
ふるさと・水と土保全基金	7,000
スキー場建設基金	10,000
国民年金印紙購買基金	24,081
国民健康保険給付準備基金	183,793
合計	2,186,667

町には六つの特別会計があります。執行状況は上図の通りです。町が今一番力を入れている下水道事業や農業集落排水事業の特別会計は、合わせて二十三億円を越える予算規模になっています。これら事業は、国の経済対策という追い風もあり、当初の計画を大幅に上回る進捗となっています。下水道事業は、千手地区を対象としていますが、本年五月には一部供用を開始しました。今後は、高原田方面に向けて工事の進捗が図られます。

農業集落排水事業については、三箇地区の工事が最盛期となっており、仙田地区は中仙田の川東地域を残すのみとなりました。今後は、新町新田、元町地区の計画の推進が図られます。

下水関係事業は非常に巨額な費用が掛かりますが、その建設費の財源は、皆さんからの分担金、国や県からの支出金、それと町債(借金)でまかなっています。

特別会計

基金(預金)

基金は、平成五年度末に約二十八億九千万円でピークとなりましたが、九月末現在での合計は、二十一億八千六百六十六万七千円となっています。減少額の多くは「財政調整基金」や「まちおこし基金」で、平成六年度の下水関係事業の進捗、中学校屋内運動場建設、温泉開発、中子観光交流会館

町では将来の財政需要に備え、目的別に十三の基金を設置しています。

基金は、平成五年度末に約二十八億九千万円でピークとなりましたが、九月末現在での合計は、二十一億八千六百六十六万七千円となっています。減少額の多くは「財政調整基金」や「まちおこし基金」で、平成六年度の下水関係事業の進捗、中学校屋内運動場建設、温泉開発、中子観光交流会館

町債(借金)

区分	7年9月末現在高
一般会計	3,768,625
国民健康保険診療所特別会計	453,629
簡易水道事業特別会計	73,847
農業集落排水事業特別会計	908,545
下水道事業特別会計	786,000
合計	5,917,017

町債(借金)

建設等の財源として充てました。今後とも下水関係事業等により巨額な財政需要が生じているため、減少傾向の見込みです。

町債の九月末現在での合計額は、五十九億一千七百一十七千円となっています。町債残高は毎年度の一般会計予算規模程度で推移しており、増加傾向をたどっています。

町債は、道路、下水道、福祉、教育、観光施設等を整備するとき財源不足を補うものですが、施設ができた恩恵は将来の人にもあることから、その費用は、現在の人ばかりでなく将来の人にも負担(町債の償還)すべきものです。

しかし、町債が巨額になると将来の財政の硬直化を招く原因にもなるため、できるだけ国の支援のある優良債を選ぶ等、適切な町債管理に努めています。

地域のこれから自ら考える

平成七年度と八年度の二か年、仙田地域が、県の農村アメニティモデル育成支援事業の採択を受け、地域を挙げて様々な取り組みをしています。

この事業は、快適で豊かさを実感できる美しい農村づくりのため、集落の人たちが自ら計画を立て、自ら事業を行うことに対して、県や町がいろいろな角度から支援するもので、仙田地域は十集落全体でこの事業に取り組んでいます。専門家を迎えての講演会や、自分たちの地域を再発見するための仙田ウォッチング、先進地の視察や、その結果を計画に活かすための会議を通して、いくつかの事業計画が挙がっています。



アドバイザー（左から2人目・尾崎真理さん）と仙田ウォッチング

で写した写真で綴るカレンダーづくりや、地域全体を統一イメージでアピールする集落案内看板づくりなどがそれで、三十〜四十歳代

で構成される「仙田21委員会」の皆さんを中心に準備が進められています。

その中で、仙田の皆さんがみんなで見守るような「シンボルマーク」をつくっているいろいろなところに表示しようという計画があり、ただ今、そのマークを募集中です。仙田地域の皆さんに限らず、「こんなシンボルマークがいいな」というアイデアがありましたら、A四版用紙に一点記入し、十二月二十日までに左記までお寄せください。

◆提出及び問い合わせ先

仙田地区開発振興協議会事務局
（赤谷・川西町克雪管理センター）
内 ☎ 六九一・二〇〇二 または、
開発課振興係（☎ 六八一・三一一）
一内線三二二



アドバイザー筒井義富さん（写真正面右側）を囲んでの「仙田21委員会」

行政改革大綱を調査会に諮問

行革については本紙七月号でお知らせしましたとおり、役場内に設置された「行政改革推進本部」を中心に、全職員から改革の提言を取りまとめる等して大綱素案の作成を進めてまいりました。

今般、「川西町行政改革大綱」策定に当たり、次の方々に第三次川西町臨時行財政調査会の委員を委嘱し、この大綱が広く住民の皆さんの意向を反映したものとなるようご検討いただくことになりました。なお策定された大綱の概要

は、後日本紙に掲載する予定です。

（順不同・敬称略）

第三次川西町臨時行財政調査会

戸田 哲次（仁 田・64歳）

清水 進（朝日町・47歳）

小熊与子雄（上野・71歳）

南雲 直秀（中仙田・59歳）

蔵品 順子（霜 条・54歳）

高津富士男（寺ヶ崎・47歳）

馬場 繁信（朝日町・46歳）

内山 ミサ（新町新田・44歳）

読者からのお便り

室島にお住いの半田美好きさんから、「近所の川崎長蔵さんは、今年米寿を迎えられましたが、毎日元気に農作業をされており、山田の大半は自分でコンバインを運転して刈っている。こんな元気な高齢者がいることを紹介して、ほかの高齢者の皆さんの励みになれば」とのお便りをいただきました。

さっそく川崎さんをお尋ねし、お話しをうかがいました。

川崎長蔵さんは、明治四十一年生まれの八十七歳。部屋にはコンバインに乗った雄姿が飾られており、コンバイン操作の動機をうかがったところ、「最初は息子（作

重さん）と鎌で周り刈りをしていて、息子がわらを持ち出す合間に乗って見たらわりと簡単だったので続けています。機械は良くできていておもしろいように刈れるし、曲がる時に注意すれば転倒もしない。袋数を数えながらの作業は前年との収量の比較ができて楽しみです。体が動くうちは続けたいし、毎年早くコンバインに乗りたくてしょうがないくらいだ」と話してくれました。

無理をしないよう事故に遭わないようにお話しいただきましたものです。



「昔に比べれば楽になった」と、コンバインの操作を楽しむ川崎さん



戸田臨時行財政調査会長（写真右）に諮問書を手渡す南雲町長

農地についてのご相談は農業委員会へ

農地の賃借には2通りの方法があります

作れる人は借りて経営の規模拡大！

作れない人は賃して農地の有効利用！

◆ 農 地 法

農地の賃借には、貸主が借主に農地を耕作させ、借主から小作料をもらうことを内容とした契約の賃貸借と、貸主が借主に農地を無償で耕作させる契約の使用賃借があり、いずれも農業委員会または知事の許可が必要です。

許可を受けた賃貸借については、権原ある小作地と認められ、第3者への対抗力等農地法で保護されますが、許可を受けない賃貸借については無権原の小作地（ヤミ小作地）となり、農地法の保護が受けられませんので必ず許可を受けてください。

◆ 農業経営基盤強化促進法

町（農業委員会）が、農地の貸し手借り手の間を調整して、権利の設定・移転計画をまとめた「農用地利用集積計画」を作成し、農業委員会の決定を経て公告することにより、安心して農地の賃借、売買を行うことができます。

約束の期限がくれば離作料を支払うことなく農地を確実に返してもらえます。

この制度をわかりやすくしたのが下の図です。

—— 借りたい人 ——

- 農地を借りて規模拡大したい。
- 作付地の集団化をしたい。
- 機械や設備を効率よく使いたい。

—— 貸したい人 ——

- 勤めが忙しく農業に手がまわらない。
- 年をとり、後継ぎもいない。
- 安心して貸すことができるのならば貸したい。



農地流動化推進員・農業委員会事務局まで申し出ください

申し出



農用地利用集積計画の作成



農業委員会の決定



町長の公告



権利の設定・移転



期限がくれば返還

継続して貸すこともできます

農家のみなさんに
農家の相談・農地の貸し借りや
売買（農地の流動化）を進めます



農地流動化推進員（農業委員）

農地の賃貸借、売買及び転用等の申請書の締切日は毎月15日です。
（12月は10日です。）

食推が厚生大臣表彰を受賞

十月六日、厚生省講堂において森井厚生大臣から川西町食生活改善推進委員協議会（南雲ハルエ会長）に表彰状が贈られました。

同会は、昭和四十一年に栄養教室修了者二十四人で「やまな会」を結成して以来、食生活の面からの成人病予防を目指し、地域に密着した活動を展開してきました。私たちの食生活もこの約三十年間に大きく変わってきており、同会の活動分野や範囲も広がっており

ますが、現在三十六人の会員は、秋の地区伝達講習会に向けて積極的な取り組みを行っています。



工 お笑いを一席

いっせき

十月二十一日、町内二つの会場で寄席が開場しました。

一つは野口落語会。地域の親睦を深めようと野口七日会（村越浩明代表・会員十五人）が計画し、野口集落センターに約五十人が集まりました。

二つ目は上野寄席楽集。地域の人々が気軽に落語を楽しめるようにと上野青年会（富井陽介代表・会員十五人）が計画したもので、



落語 金原亭馬治さん



紙切り 林家小正楽さん

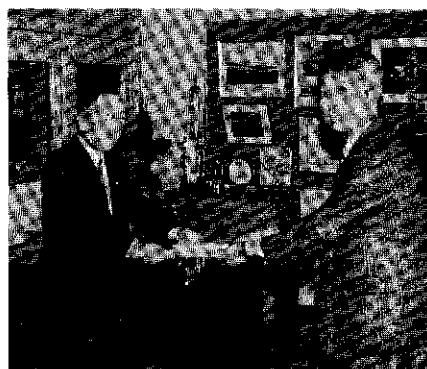
A新潟川西上野支所特設ホールに約百二十人が詰め掛けました。

両席の出演者は、落語が真打ちの金原亭馬治さん、紙切りが二代目の林家小正楽さんのお二人。二つの会とも町の地域活性プロジェクト支援事業を活用したもので、午前と午後をうまく利用して、地域の人たちの楽しいひとときづくりになりました。

なかまの家に切手を贈る

十月二十七日、なかまの家（小林重俊施設長・写真左）を全通魚沼支部（島田福男支部長・写真右）が訪れ、「今後の活動に役立ててもらいたい」と切手八万円分を寄贈しました。

同支部（二市三郡所属）は、二年前から書き損じはがきを集めて切手を贈る運動に取り組んでおり、これまで津南町教育委員会や小千谷市社会福祉協議会に贈ってきました。



した。三年目の今年は約千六百枚を集め、八十円切手千枚に換えて、小林施設長に手渡しました。

町体協

優秀競技者らを表彰

十月二十一日、総合センターで町体協の第三回交流会兼第十五回体育功労者等表彰式が行われました。

受賞された方は次の皆さんです。

（敬称略）

★優秀競技者大章

相崎幸子（田中町・卓球）

★優秀競技者章

丸山貴行（根深・スキー）

神田曉美（山野田・陸上）

村越ルミ（野口・卓球）

★奨励者章

【駅伝】渡貫克典（新町新田）

片桐英恭（小白倉）

安全を願って



川西にいがたライオンズクラブが結成十五周年を記念し標識を贈る。

【体操】若山直樹（新町新田）

【水泳】山本章人（仁田）

【テニス】西野有紀（十日町市）

山田智恵子（同）

【スキー】井上吉典（神社町）

片桐健太（発電所通西）

小林由子（中仙田）

【陸上】清水利光（上野）

柳昌光（東善寺）

小林優（中仙田）

【卓球】村越祐介（野口）

池竹祐子（原田）

【相撲】金子実寛（岩瀬）

健康は 自分でつくる 大きな財産 家庭から 広げよう心とからだの 健康づくり

川西町健康まつり

毎日の 努力にかける 健康づくり 気をつけよう 食べすぎのみすぎ 太りすぎ

— 10月15日 川西中学校体育館 —

タウンニュース

健康まつりに合わせ、永年町の母子保健や食生活改善に貢献された十四人を表彰し、献血功労者（五十回・三十回）九人に感謝状を贈りました。また、平成六年中に医療機関にかからなかった国保世帯二家族に記念品を贈り、平成四年度から始めた「健康づくり百口運動」の千日達成者十二人を健康づくり千日実践者として認定しました。表彰等を受けた方は次の皆さんです。（順不同・敬称略）

◎保健衛生功労者

小川弓子（岩瀬・50歳、母子保健推進委員・永年功労10年）
柳 トク（学校町・68歳、食生活改善推進委員・永年功労10年）
高橋シヅ（上町・67歳、同右）
須藤キミ（高原田・67歳、同右）
数藤ナヲ（沖立・58歳、同右）
丸山タヒ（根深・57歳、同右）
丸山君子（高原田・57歳、同右）
数藤リエ（沖立・51歳、同右）
清水美代子（上野・47歳、同右）
須藤愛子（下原・45歳、同右）
平野夏子（四郎兼・45歳、同右）
登坂和代（岩瀬・44歳、同右）
村越光枝（野口・43歳、同右）
古沢紀美子（上野・42歳、同右）

◎献血功労者

○五十回
高橋直人（赤谷・42歳）
北村良二（中央町・40歳）
村山一男（高原田・38歳）

○三十回

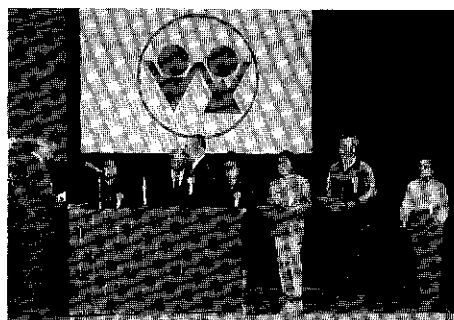
高橋一郎（三領・53歳）
小林立雄（中仙田・43歳）
上村 清（上野・42歳）
中條重文（木島・36歳）
齋藤恵子（上野・32歳）
出口明広（木落・28歳）

◎健康家族

星名邦夫一家（伊友）
江口佐久雄一家（小白倉）

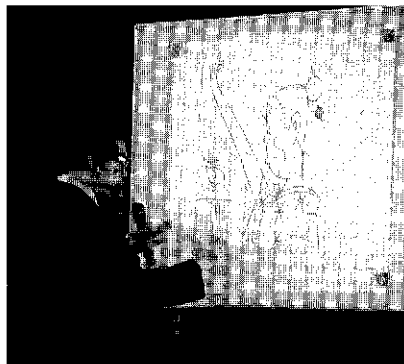
◎健康づくり実践運動

外山ユシ（山野田・69歳）
藤田宏太郎（発電所通西・72歳）
数藤チヨ（発電所通東・72歳）
星名チエ（発電所通東・68歳）
南雲一郎（栄町・74歳）
南雲ヨシ（栄町・69歳）
宮 徳次郎（朝日町・70歳）
宮 アキ（朝日町・71歳）
小熊興子雄（上野・70歳）
渡貫トク（上野・70歳）
田口梅野（木落・73歳）
小川弓子（岩瀬・50歳）



「健康づくり100日運動」の1,000日達成者に認定証を交付

特別講演は漫画家の富永一郎さんによる「心の健康づくりと心のカルシウム」。漫画家らしいユーモアをふんだんに盛り込んだ講演となりました。また、直筆のマンガは来場者にプレゼントされました。



会場に設けられた自動血圧測定器と体脂肪測定器。普段なかなか測れない体脂肪率にびっくりされた方もチラホラ。



第八回町民つな引き

大会の結果

◆小学生低学年の部

一位 モクラクサブロー
二位 ファイトノ一発
三位 仙田ゴールド
同 ファイト千手

◆小学生高学年の部

一位 モクラクタロー
二位 キラキラポールズ
三位 千手ガッツだ勝っちゃうぞ！

同 モクラクジロー

◆一般の部

一位 白倉オールマイティーズ
二位 モクラクA
三位 仙田小学校お父さんお母さんがんばるぞ！
同 白倉オールマイティーズ
イト



小学生低学年の部で一位となったモクラクサブローチーム

熱き思い届けたい

我ら『かわにし夢きやらばん』

『かわにし夢きやらばん』、聞きなれない名前ですが、ミュージカル「男のロマン 女のフマン」実行委員会（金子ヒロ子実行委員長）の別称です。

この会は、町内で活動している複数の団体や個人が、劇団ふるさときやらばんの「男のロマン 女のフマン」公演を媒介として、町内のネットワークづくりと明るく楽しい地域づくりをしようと集まったものです。

このような本格的劇団公演は、おそらく川西町では初めての試み。十一月十八日の公演日も迫り大忙しのメンバーから熱きメッセージをお届けします。



町内のいたる所に建てられた看板はすべてメンバーの手作り。気持ち伝わります

緑豊かな自然と温かい人情に生まれ育ち、川西町で私たちは今を生きています。

このまちでわたしたちはそれぞれ活力ある団体として個人として元気のいいまちづくりを目指してがんばってきました。でも、同じまちにいながら横のつながりというものはほとんど無かったような気がします。

そんな折、劇団ふるさときやらばんからミュージカル「男のロマン 女のフマン」公演の情報がきました。有志で話し合った結果、地域共通の話題としてだれもが気軽に参加できる事業であると判断し、実行委員会「かわにし夢きやらばん」を結成し、実施することになりました。

それぞれの団体・個人として一生懸命やってきたわたしたちが、まちづくりというテーマで、一つになって取り組むことになったのです。この作品は、地域の振興に関わる町の人々の思いや行動をコミカルにそして温かく描いてあり、美しい生演奏とともに観る人の心を魅了せずにはおきません。

家族で、地域ぐるみでこの公演を観賞しながら、笑い、泣き、そして感動を一緒に共有することで、

明るく楽しい家庭、地域、そしてまちづくりの助けになったなら、新しいふるさとづくりの芽が伸びることを目標に、この事業に取り組んでいるわたしたちはとても幸せです。どうか、これからの川西町に寄せる私たち全員、熱い思いをご理解いただき、ご家族やお友達をお誘い合わせておでかけくださるようご案内いたします。

ミュージカルのあらすじ

日本列島いずこの街や村でも、男たちはロマンを求め、ムラおこしマチおこしに家から飛び出してゆく。

一方、家事・子育て・近所づきあいと、現実のくらしや家を守っている女たちは、どうして明るいムラ起こしが暗い家づくりになっちゃうのと、フマンだらけ。とうとう悪妻同盟をつくりウツパンを爆発させる。

美しく豊かな自然いっぱい、日本のおふるさと、パチンコ屋がやけに輝いているふるさとで、男のロマンと女のフマンが衝突して、ムラはテンヤワンヤの大騒動。男の友情も男女の愛も、揺れてもつれて、新しい信頼が生まれてくる……か？

問い合わせ先
かわにし夢きやらばん
☎六八一・二七一

11/11
11/17

税を知る週間です

この週間に合わせ、全国の中学生を対象に標語を募集しました。十日町税務署管内では、郡市内から一、三四三点の応募があり、うち川西中学校からは三〇七点が寄せられました。

また、十日町納税貯蓄組合連合会でも税についての作文を募集しました。郡市内から二八三点が集まり、川西中学校からは五七点（三年生のみ）の応募がありました。

標語・作文の入選作品を紹介します。（敬称略）なお、作文の入選作については本紙十二月号から順次紹介します。

【標語】

関東信越国税局長賞 優秀

よく知ろう 役立つ税の 大切

さ 一年 渡辺 学

十日町税務署長賞 優秀

知ってますか？ あなたの税の

つかいみち 二年 高橋智美

十日町税務署長賞 佳作

みんなのため 納める税の

大きな力 一年 渡部麻奈美

町租税教育推進協議会

〈入選〉

税金で この道あの橋 この社会 三年 星名淳二

ふと見ると あこにもここにも
光る税 三年 小林理恵
税金は ぼくらとゆめを つなぐ橋 三年 高橋久美子
役立てよう 明るい社会に
みんなの税 二年 上村直子
消費税 払って僕も 人のため 二年 片桐健太

〈佳作〉

一年 木村祐子 根津迪子 大久保守秀 五十川亜紀 和久井公太
小林大昌

二年 貴田祐介 丸山一樹 大浦正美 野沢佳代 半藤賢一
三年 相崎政憲 保坂優海 富井絵理 田村 潔 小林はるか
戸田和樹 小海絵里 池竹崇太
根津正樹

【作文】

町租税教育推進協議会

〈入選〉

「暮らしを支える税金」

「未来のための灯火「税」」

「身近な税」

〈佳作〉

三年 野上真理子 須藤輝美

小林はるか 水落亜耶

信濃川と三領の昔

岩瀬 金子 幸 作

流れは尽きず洋々と

取り入れが終わり、晩秋の色も濃くなったある夜、南雲隆三上野地区公民館長に「三領の昔」を語ってもらった。たくみな話術と貴重なお話に過ぎた日を思い、先人たちのしたかな生きざまに胸をうたれた。以下は南雲元館長のお話をまとめたものである。

長安寺の過去帳に「慶安二年（一六四九）正月、三領村治左衛門女云々」の記載があることを考えると、三領の草創は徳川の初期であったと思われる。万治二年（一六五九）の家数は十一戸だったがやがて二十三戸になり、現代は全盛期に三十二戸を数えたこともある。しかし「家数が三十戸を超えると三領はどこかの家が絶える」というジンクスがあり、そのためか、このところ毎年三十戸で平和な生活が続いている。

昭和戦前の、千手に発電所ができるまでの信濃川は満々と水を湛えて、古い新潟県民歌の文句のとおりに「流れは尽きず日に夜に」、妻有の盆地を洋々と流れていた。川幅は雄に百メートルを超え、水深は三間の竿を指しても河床に届

かず、浅い所でも人の背が立たず、流れは遅いように見えても時速十五キロメートルはあった。

三領と木落の渡し

三領の鼻先は小見川が信濃川に合流する地点に、川辺と下条の上新田をつなぐ渡船場があった。入口に「営業時間は日の出から日没まで」と掲示されていたが、社会の推進につれ船頭衆の待遇も改善されて「朝七時から夕方六時まで」となり、官公庁並みの「午前八時半から午後五時」に改められ、以後は頼めば時間外勤務で船を出してくれるようになった。

栄橋のあたりに、木落から下条の桑原へ渡る渡船場があったが、民営のために利用者はそのつど舟賃を払わねばならなかった。これにひきかえ、三領の渡しは県営だったから舟賃は無料で、歩くことを苦にしなかった村の衆は遠まわりでも三領の渡しを利用する人が少なくなかった。一日平均三十人ほどの人が往復ともに利用し、兩岸流域に住む人びとにとって唯一の交通機関になっていた。

舟呼び

木落の和久井精一さん宅上手の信濃川べりに、何人かの船頭衆が二艘の舟を繋いで待機しており、流域住民の急な要請にいつでも応えるしくみになっていた。今なら電話一本で済む用事なのに、当時の夜間はどこの渡し舟も休みで、急用のできた人は船頭に頼んで特別に舟を出してもらった。

不測の事態がおきて舟を利用するのは真夜中の場合が多く、万物の寝静まった深夜に下条や中条の人が川西の船頭を呼び起こした。大川の水音を越えて「オー、オー、オー、オー」と重低音で呼ぶ声は何ともいえず切な気で、悲しそうで、不気味で、重苦しく胸にひびいた。「急病人が出たのか、それともだれかが死んで告げの人か」などと考えると、眠い目も心も冴えて朝までまんじりとしないう夜があった。舟を出してもらった人は船頭に感謝し、なにがしかの金を包んで労をねぎらった。

三領のガス取り声

三領にはボイ（薪）を切る山が無く、食物の煮炊きや風呂の湯沸かしを始め、冬はとくに暖房の確保に苦労した。こうした悩みを手っ取り早く解決してくれたのが信濃川の大洪水で、村の衆は水害を恐れながらも、燃料が欲しくて大水が出るのを心待ちにした。

信濃川に大雨が降ると、数日後

には大川の水量が増し、濁流に混って大小さまざまな流木が漂着した。三領では達者な人が総出で鵜（う）を持ち、ある者は竹竿の先に鎌を付けて川岸に立ち、これはとめざす流木をひっかけて拾い上げるのに夢中だった。「ホー、でっかいのが来たぞ」とか、「この木は俺が引き寄せたんだ」とか、「あの根っこはこっちでもらう」と各自が大声出して奪い合った。

あるとき、燃料に苦労しない仙田のオトトが通りかかり、大声張り上げて流木を奪い合う有様を見て「ガス取り声だ」と笑ったところ、このひとことがいつしか近在に広まって「三領のガス取り声」と評されるようになった。ガスというのは流木のことで、小さいガスを「小物」とか、または織機の管になぞらえて「管ガス」と呼称した。拾い上げたガスは天日に干して乾かし、節約しながら上手に燃やしたが、とにかく炊き物の確保には容易でない思いをした。

小根岸の衆は暮らしが豊かで舟を何艘も持っており、大洪水があるとすぐに舟を出して、濁流にもまれながら命がけでガスを拾い集めた。そのガスを山に積んで、三領の衆の足元をみて「一山いくら」の高い値で売りつけた。

音頭取りの友蔵サ

「三領のガス取り声」には、も

うひとつ、次のいわくがある。小根岸に三領出身の高橋友蔵という美声の持主がいた。盆踊りには名代の音頭取りで、「大の阪」はもちろん、「ヨイヤラサ」や「キタホウカイ」など、友蔵サが音頭を取ると踊りが引き立ち、いつしか「友蔵節」ともはやされて近郷の一世を風びした。ほかの音頭取りが口惜しがって歯きりしても及ばず、そのうえこの人が色男で女衆にもてたことから、だれかがヤッカミもあって「友蔵のは下手なガス取り声だ」と評価した。それがいつしか、「三領のガス取り声」になって近在に広まったという説である。（以下次号）



三領の渡し・昭和三十年
ふるさとの百年（金子幸作解説・
新潟日報事業社刊）転載

善 意

(敬称略)

街 路 灯 3 灯
東北電力(株) 十日町営業所
安全標識立看板 1 基
川西にいがたライオンズクラブ

暮らしのカレンダー

11 月	
10	麻疹予防接種(高齢者コミセン)
11	
12	
13	1歳6か月児健診(保健センター)
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	健康相談(保健センター)
21	
22	海外研修発表会(活性化センター)
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
12 月	
1	子宮がん検診(保健センター)
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

◎ 〇 は日曜日。

◎ 時間など詳しくは、広報お知らせ版をご覧ください。

休日救急医

11月12日 国保診療所(高原田)
(クリニック川西)
☎ 68-2034

19日 上村病院(中里村)
☎ 63-2111

23日 大熊内科医院(山本1)
☎ 52-7066

26日 庭野医院(寿町4)
☎ 52-2711

12月3日 第二藤巻医院(上野)
☎ 68-2018

10日 大坪医院(四日町)
☎ 57-6100

〃 中条病院(中条)
☎ 57-3018

17日 上村病院(中里村)
☎ 63-2111

表紙の写真

十月六日、川西中学校体育館で、同体育館の竣工記念事業として、NHKラジオの人気番組「真打ち競演」の公開録音が行われ、約六百三十人の方が寄席気分に入りました。

この日は二回分の収録が行われ、前半は十一月五日放送分として大瀬ゆめじ・うたじさんの漫才、ケイ・高嶋さんの漫談、三遊亭栄馬さんの落語と続き、後半は十一月十二日放送分となるびいどうさんの漫才、牧田博さんの漫談、

三遊亭円右さんの落語が収録されました。いずれもテレビでおなじみの顔だけに会場は終始笑いが絶えませんでした。

十一月十二日は午後十時十五分からNHKラジオ第一放送で流されます。お楽しみください。

川西中学校の体育館は、体育施設としての機能はもとより、音響にも配慮した施設として建設したことから、コンサートや演劇などの文化的催し物の会場となる機会が多くなっています。



かわい 俳壇

高崎正風選

よくはざる線香花火は姉が持ちどくだみの花白ければ雨やまず

元町 金子 鉄平

送りたる新米日本一の礼秘むる技あると思へる菊花展

霜条 星名 星光

百舌鳥啼いて日毎落葉の増しにけり縄丸太早や注文も冬仕度

上町 高橋 願似

間引かる、牛蒡すりりと引かれけり十人の孫さづかりし今朝の秋

上野 内山 寛平

燃え立てるサルビヤづく出湯の道伝道の声爽やかに刈田道

寺尾 白井すみい

ぬか焼の煙包みし一軒家輪台を付けて手塩の鉢の菊

新町 若山 向山

今年米先づ御佛に小さく盛り出展の大菊鉢を洗いけり

山野田 藤田ひろ志

秋日和庭の小豆はせて居りゴンドラの紅葉の谷を登りゆく

岩瀬 登坂伊智子

朱の鳥居青空に映え神の留守芝桜つつじしつかと返り花

仁田 小幡しん女

まずまずの出来と届きし今年米秋風や旅の便りの短かくて

野口 野沢 寅生

コスモスや頭上日ねもす米軍機萩の庭眺めつ友と茶をする

綾瀬市 野沢ますえ

思い出のアルバムを手に夜長かな初ひ孫をあやして泣かれ又いとし

野口 五十嵐トラ

雑金魚なれどこの夏越しにけり秋の蚊の刺すすべもなく離れけり

練馬区 須藤 遊人

虹の輪の中夕映の紅葉山謹用の花輪並べる時雨かな

高倉 斎木 和人

暎解く妻が手縫ひの秋袷何処となく匂いを分けて秋刀魚焼く

足立区 駒形 頼太

案山子一位新米一俵届きけり神の留守暖かき日の続きおり

野口 村越 由喜

刈り終えし田を白々と月照らす稲粟に残れる粃を手でこきぬ

仁田 戸田 貞

上野 入沢 はや

異国人廻するくろや秋白し

足立区 涌井ハル子

み仏に供え故郷の今年米八王子市 松浦 サク

秋の宵兄弟集う松之山

相模原市 佐藤 周三

三国路の幾坂越えて紅葉狩る浦和市 登坂 博史

霜月の白百合にある気品かな

厚木市 川崎 保一

水をまく手もとに來たる赤トンボ紅葉の燃える観光道路かな

霜条 蔵品ハツエ

赤とんぼ小豆打つ手に止りけり中仙田 樋口タマエ

野口 村越 幸

新米という艶なりし米を研ぐ

大倉 中条 石平

熟れ柿に日ねもす百舌の猛りおり霜条 大海 白濁

酔のき、て色美しき菊なます

小白倉 江口みゆき

結球のキャベツに肥料あたえけり小白倉 田中 優美

ひしひしと夫の墓石に秋の風

田中町 石沢 澄代

後の月芋煮供へて老夫婦

高原田 引間 子舟

餃子

材料

ひき肉
にら
しいたけ
卵
餃子の皮

調味料

長ネギ
塩
砂糖
化学調味料
コショウ
小麦粉

作り方

- ①ひき肉、にら、しいたけ、卵に調味料を入れて混ぜる。
- ②餃子の皮に①を適量入れて包み込む。



今回は寺尾の高橋莉恵さんです。
「中国料理の味は日本料理よりおいしいですが、日本料理の色は中国料理よりきれいです」と話してくれました。
餃子はいろいろな料理を使ったり、親子でワイワイやりながら作ることもできます。皆さんもオリジナル餃子にチャレンジしてはいかがですか。

メニューに加えた一品

12

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

小堀 恭平 良和 霜 条
星名 雅哉 博司 沖 立
谷井 美晶 浩也 木 島
小林 峰秋 義文 山野 田
田中 美也子 俊彦 中島 町
小川 瑠美 恵美 高 原 田

昇天—ごめい福を祈る
星名 虎雄 69 (本人) 伊 友
和久井 春野 70 (本人) 木 落
中村 とみ 77 (本人) 山 野 田
小川 キミ 79 (二 人) 赤 谷
高橋 トヨ 85 (六 人) 倉
丸山 幸二 政 夫 木 落
星名 彩加 優 子 一 沖 立
星名 将 貴 昭 伊 友
押木 瑠花 真由美 田 戸
太田 理奈 克 子 之 田 中 町

たかき—ご円満に

五十嵐 ミネ 87 (正義) 野 口
江口 サヨ 88 (則 雄) 小 白 倉
田村 ハツエ 91 (賢太郎) 上 野
室井 達徳 栃木県 から
滝沢 実花 栄 町
小幡 一久 木 落
高野 君子 長岡市 から
星名 克之 新町新田 から
滝沢 加代子 津南町 から
中島 和浩 下平新田 から
庭野 あゆみ 十日町市 から
渡部 稔 上 野
北堀 文子 野 口 から
(10月1日—31日届け出分)

意外に身近かな精神病

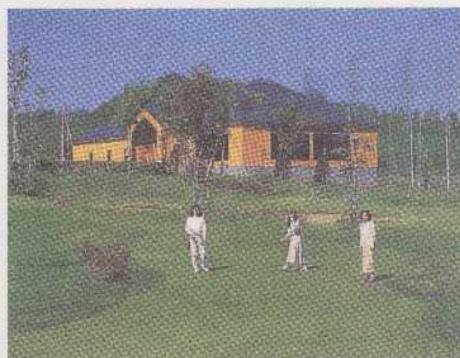
「酒は百薬の長」と言われます。

が、酒で失敗した人、酔った人に迷惑をかけた人が後を断ちません。この中魚沼地域は、他と比べアルコール依存症の人が多いと統計もでています。

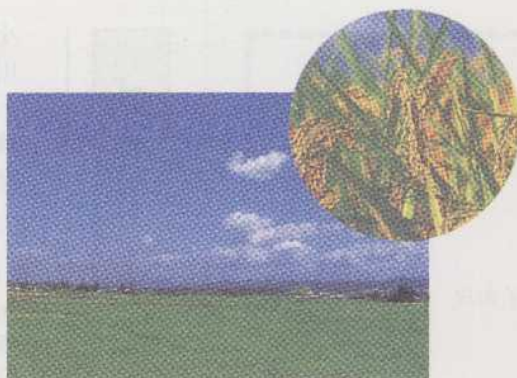
程良い飲み方ができれば問題は起きないのですが、その飲酒量のコントロールができなくなるのがアルコール依存症です。この病気は一日にして起こるものではなく、おおよそ毎日一合の飲酒で三十年、二合で二十年、三合では十年で依存症になると言われています。初めは前夜のことが思い出せなかったり、飲み出したら抑制が利かなくなることから始まり、そのうちに身体障害や家庭でのトラブル、会社の遅刻や欠勤、大事な約束を忘れるなどのトラブルが起きます。次いでアルコールがきれると、ふるえや不安感などの禁断症状が出て、重篤になると幻覚等が見えるアルコール精神病や痴呆となり、死に至ります。もし自分で思い当たる症状が出てきたら、早目に節酒、禁酒をしてください。自分だけでは難しいものです。家族や周囲の人の協力も大切です。「少しくらいは」が命とりになることを心得ておきましょう。家には酒を置かないくらいの態度が必要ですし、医師に相談することも大切です。



全国有数の広さを誇るナカゴ
パターゴルフ場（元町）



究極の味わい川西のコシヒカリ



ご利用ください観光年賀はがき
町では、今年も観光宣伝事業の一環として、町にちなんだ物や
名所を年賀状に刷り込みます。
年賀状は、町内の郵便局と販売所で購入できますのでご利用く
ださい。（ハガキに刷り込む大きさは、おおむね5.5cm×4.5
cmで、この写真は実寸とは異なります）

栄橋からみた冬の信濃川（木落）



節果城跡公園と木のぬくもりが
うれしいバンガロー（上野）



▶ 2年生 田中美奈子 さん
◀ 1年生 南雲 茜 さん



▶ 1年生 羽鳥愛子 さん（右）
村山奈央 さん（左）



ちいさな展覧会

88



▲ 3年生 春日絵美 さん（左）・数藤千織 さん（右）

▶ 2年生 大浦正美 さん



▶ 1年生 星名壮太 さん



◀ 1年生 丸山健太郎 さん

▼ 2年生 井上冴子 さん・大浦正美 さん 合作



▲ 1年生 丸山緩恵 さん

（12月号は千手小学校です）

（川西中学校）